

もっと! 地販地消 美郷まるごと地販地消事業

美郷まるごと地販地消事業 地販地消応援の店 説明会にお越しください

日時●平成22年6月18日(金) 午後2時～
 場所●ふれあいセンター(千畑南小学校向かい)
 対象者●町内産品等を積極的に取り扱い、この事業に参加したい、または興味のある小売店等の関係者
 ※参加申込等は行っていませんので、直接会場にお越しください。
 問合せ先●「美郷まるごと地販地消事業」プロジェクトチーム(商工観光交流課内) ☎0187-84-4909



道の駅 雁の里せんなん「雁太郎」
 支配人 渋谷 聡 さん

5月の連休初日から道の駅の店先に設置された行灯。昼にはたくさんのお客様を向かえ、夕方になるとオレンジ色の灯りが優しく足元を照らします。

道の駅雁の里せんなん「雁太郎」の支配人渋谷聡さんは「行灯設置の提案を受けたとき、『商品の宣伝にもなるし、地販地消のPRにもなる絶好のチャンスだ』と思いました。こうした新しいアイデアに継続的に取り組むことで、地販地消の活動を盛り上げていけるのではないのでしょうか」と語ります。

町内産の農産物や特産物を取り扱う道の駅はまさに「地販地消応援の店」です。

直売所に並ぶ新鮮な野菜には生産者の顔とコメントが添えられ、「美郷町産」をアピールしています。お客さんは野菜を手に取り、そのコメントをじっくりと見てカゴに入れます。手に取った商品には町内産品ならではの付加価値がついているのです。

「この行灯の灯りが、商店街に広がったらすごくきれいだと思いますよ。地販地消の取り組みが町に広がれば広がるほど、優しい灯りが町に広がって行きますからね」

地販地消の取り組みを目に見える形でPRし、町全体として取り組みを推進するため、地販地消に積極的に取り組んでいるお店を「地販地消応援の店」として認定し、町内に広めます。

美郷まるごと地販地消事業のイメージ



この事業に参加できるのは次のお店です

- 町内で生産された農畜産物などを扱っているお店
- 町内産の原材料を複数種類使って製造された食品や物品などを扱っているお店
- 町内の企業・個人等が企画・発注し、製造した食品や物品などを扱っているお店

例えば...

- ・飲食店
- ・食品加工(製造)販売所
- ・酒造店
- ・小売店
- ・直売所
- ・製品加工(製造)販売所 など

1 小売店などに「地販地消応援の店」の認定(行灯の設置)を行います

町内産品を積極的に使用、販売して地販地消に取り組んでいる小売店などを「地販地消応援の店」として認定します。「地販地消応援の店」の店先には認定の表示として「行灯」を設置していただきます。

特典

- ホームページ上でお店の紹介をします。
- 町内で開催される行事や地販地消対象商品に関する情報を提供します。
- 町内で事業を行う方との情報交換(交流会参加)ができます。

効果

- 地販地消に取り組んでいるお店であることが消費者に分かりやすくPRできます。
- 町内での消費が増え、品質やサービスの向上が期待できます。

2 プロモーション映像の製作・配信を行います

地販地消推進の取り組み(行灯設置)を町内外に広くPRするため、町内の観光名所や祭りの映像も交えたプロモーション映像を製作し、配信します。

特典

- プロモーション映像でお店を紹介することで商品をPRできます。
- 東京都大田区や町内のイベントでプロモーション映像を配信します。

効果

- 観光客などの交流人口の増加が期待されます。
- 新しい消費者を呼ぶことで売上拡大が期待されます。

3 地販地消コーナーを設置します

認定店の店舗内に「地販地消コーナー」を設置します。町内工場で製造された服飾や靴等の製品を展示、販売します。

特典

- 町内の商店に自社製品を展示、販売するスペースを確保することができます。
- ホームページ上やプロモーション映像で紹介されます。

効果

- 新しい流通経路を作ることができます。
- 消費者の声を製品づくりに生かすことができます。

認定されたら行灯を設置していただきます



「地販地消応援の店」として認定されたお店には、『地販地消応援の店』と『お店の名前』が書かれた行灯を購入していただき、店先に設置していただきます。購入費用には上限1万5千円(1回のみ)の補助があります。

- 大 高さ60cm×縦・横30cm
 - 中 // 45cm× // 20cm
 - 小 // 30cm× // 16cm
- 行灯には3つのサイズがあります

認定と補助金を受け取るまでの流れ

- ①町に認定申請書を提出する
- ②町が審査し認定する
- ③行灯を発注する ※支払後は領収書をもらって保管してください
- ④行灯を設置する
- ⑤町に設置完了の報告と補助金交付申請書を提出する
- ⑥町が設置状況を確認して補助金を支給する ※行灯の費用と補助の上限額1万5千円を比べて、小さい方が補助金の額となります。